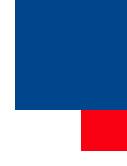


2026年3月期 第2四半期 決算説明会資料

株式会社北里コーポレーション

2025年11月17日

KITAZATO®

-  会社概要 P. 3
-  2026年3月期 第2四半期 業績概要 P. 16
-  市場環境と今後の戦略 P. 23

会社概要

KITAZATO®



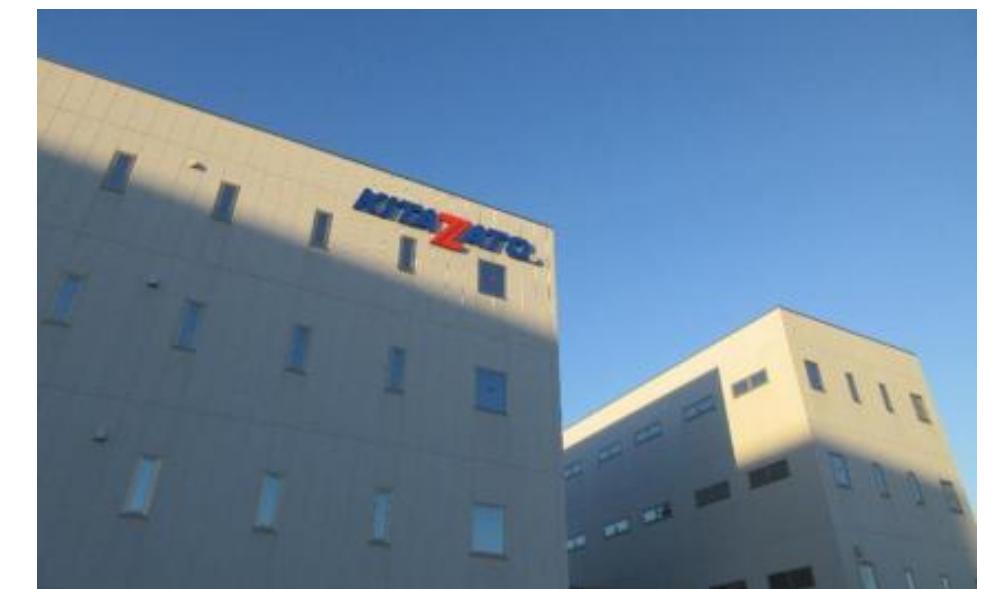
■体外受精・顕微授精・凍結融解移植などの不妊治療領域に特化した医療機器メーカー

 Kitazato Corporation
 株式会社北里コーポレーション

設立年月日	2007年4月3日
代表者	代表取締役 井上太綏
資本金	10,000千円 (2025年9月末日現在)
本社所在地	静岡県富士市柳島100番地10
拠点	東京オフィス（港区芝大門）、米国（ニュージャージー州）、欧州（設立予定）
従業員数	207名 (2025年9月末日現在) 男女比（男性：女性 = 2 : 8） ※正社員76名、臨時社員131名（契約社員、派遣社員、パート）
事業内容	不妊治療等に関する製品（採卵針・カテーテル・試薬などの消耗品）の開発、製造、販売
認証	ISO 9001, ISO 13485, ISO 14001, ISO27001, FDA, CE, CFDA, PMDA, etc.

 Subsidiaries
 子会社

株式会社北里バイオサイエンス	2008年12月22日 設立	医療機器の部品等の製造・販売
株式会社北里検査センター	2016年 2月24日 設立	遺伝子検査サービス提供
株式会社北里ヘルスケア	2011年 6月 8日 設立	高齢者向け医療機器の販売
株式会社北里クライオバンク	2022年 3月18日 設立	生体細胞の受託管理サービス提供
Kitazato America, Inc.	2023年 6月 9日 設立	米国における製品販売
Kitazato Europe	設立予定	欧州における製品販売



企業理念

Happiness, for the Next Generations 笑顔を新しい世代に

私たちは不妊治療という医療を通じて、多くの喜びが次の新しい世代に継続する仕事をしたいと願っています。

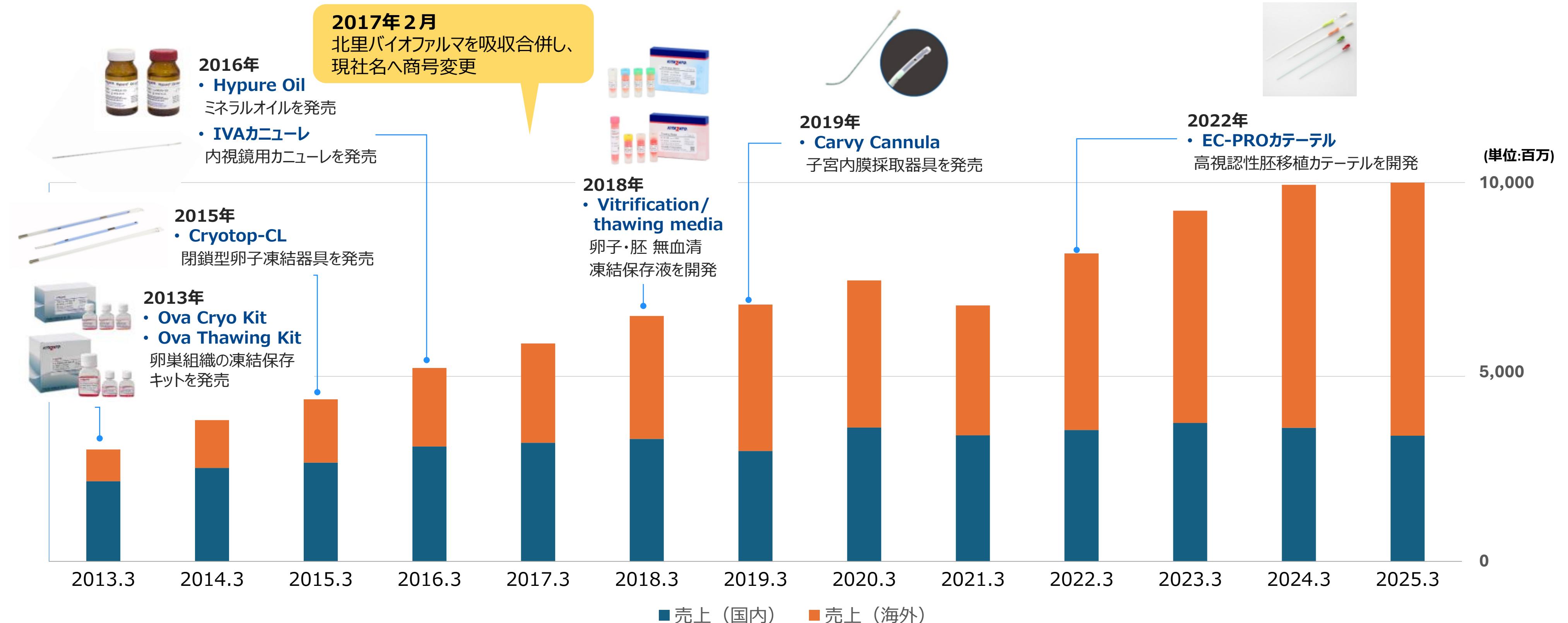
不妊治療に苦しんでいる患者様が一人でも多く笑顔に変わる日を夢みて、
皆様と共に前進・改善を続けながら、より良い製品を提供する使命感を忘れずに仕事に取り組みます。

経営指針

- 1 北里は、お客様と共に未来を創る会社です。常に挑戦を続け、結果を残し、期待される会社になることをお約束します。
- 2 皆様に喜んでいただき、信頼していただける企業になるため、誠実かつ迅速で正確な対応が出来るよう努めます。
- 3 母親には安心を、未来の子供たちには安全を贈ります。技術と品質向上に取り組む姿勢を常に意識することをお約束します。
- 4 感謝の気持ちを忘れず一生懸命に仕事をします。社会と共に存し、社会に利益を還元できる企業市民を目指します。
- 5 医療に国境はありません。常に日本企業としての誇りと謙虚さを忘れずに、グローバルな活動を推進していきます。

■ 日本、欧米、中国など各国・地域の主要クリニックとの信頼関係と製品開発力を基盤に、市場を創造しながら持続的に成長

単体売上高の推移





代表取締役

井上 太綏

医学博士・経営学修士（MBA）

当社創業者。北里コーポレーションをはじめとする当社グループの設立と形成に加え、医療関係者との関係づくり、製品開発、海外展開など、不妊治療の普及を通じて、当社グループの企業価値向上を牽引。

2007年より現職、その他、グループ会社の代表取締役も兼任。



常務取締役
品質保証部長

和泉 杏子

アウトドア用品や健康食品などの勤務を経て、2021年より当社品質保証部長に就任。
品質保証に関わり、2022年より取締役就任、2023年より現職。



取締役
マーケティング・
営業担当
小川 真希
経営学修士（MBA）

学校法人、法律事務所などの勤務を経て2010年に当社入社。
その後はグローバルな展開に関わり、2022年に取締役就任、2023年より現職。Kitazato America, Inc.の取締役も兼任。



取締役
製造部長

柴田 和美

医薬品メーカー、樹脂メーカーなどの勤務を経て、2013年に当社入社。
品質管理、製造に関わり、2022年に取締役就任、2023年より現職。



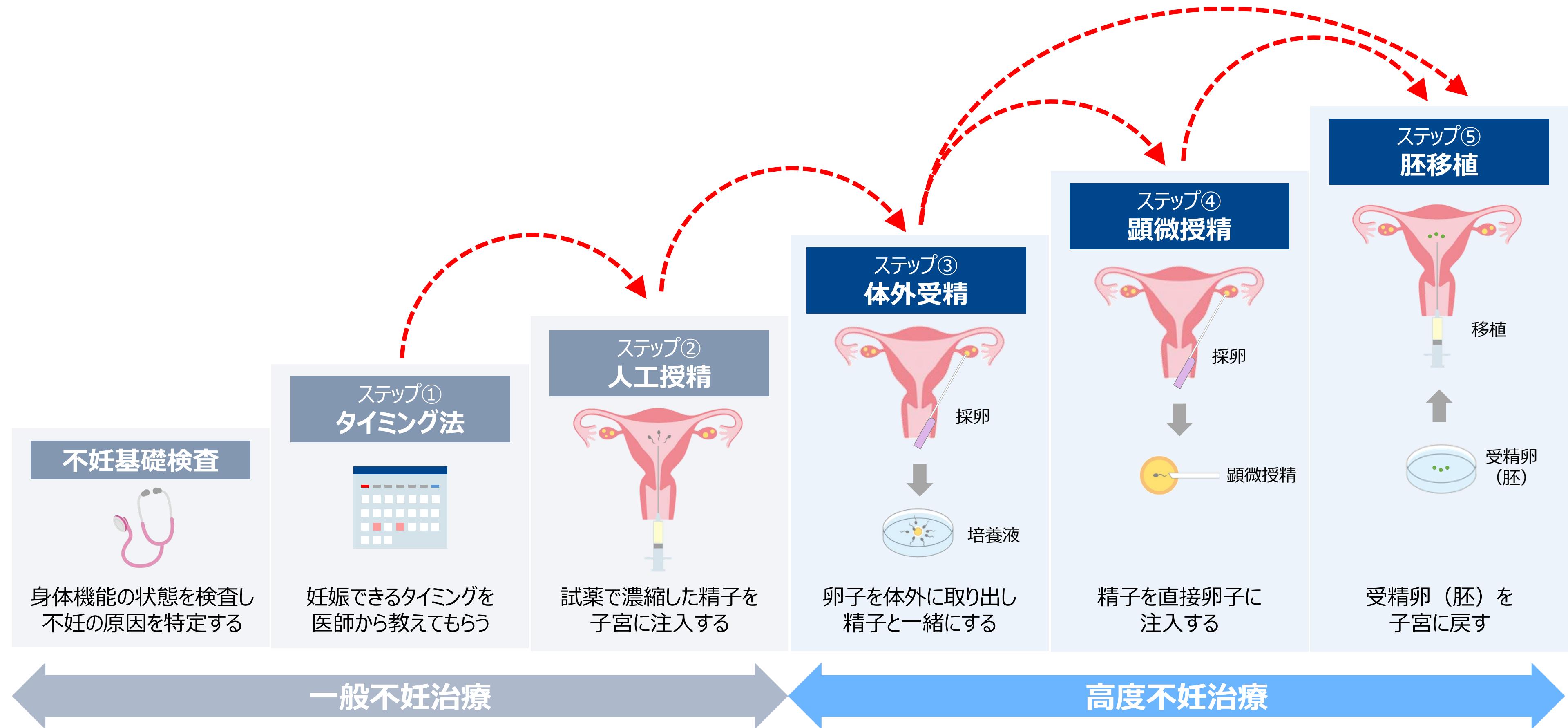
取締役
管理部門担当
鈴木 祐尚

自動車部品メーカー、光関連機器メーカーなどの勤務を経て2024年に当社入社。
同4月より取締役経営企画部長就任。同10月より管理部門担当として財務経理部、総務人事部、経営企画部を統括。

不妊治療について

| 8

- 不妊治療は一般不妊治療と高度不妊治療に区分され、治療工程は①～⑤のステップにわたり、不妊の状況によってステップが上がる



- 人工授精、体外受精、胚移植のすべての治療工程に関わる製品を開発・製造し、世界各国の医療現場に提供
- 特に、当社が強みとする凍結保存分野では、凍結液および保存容器が主要製品として市場成長を牽引

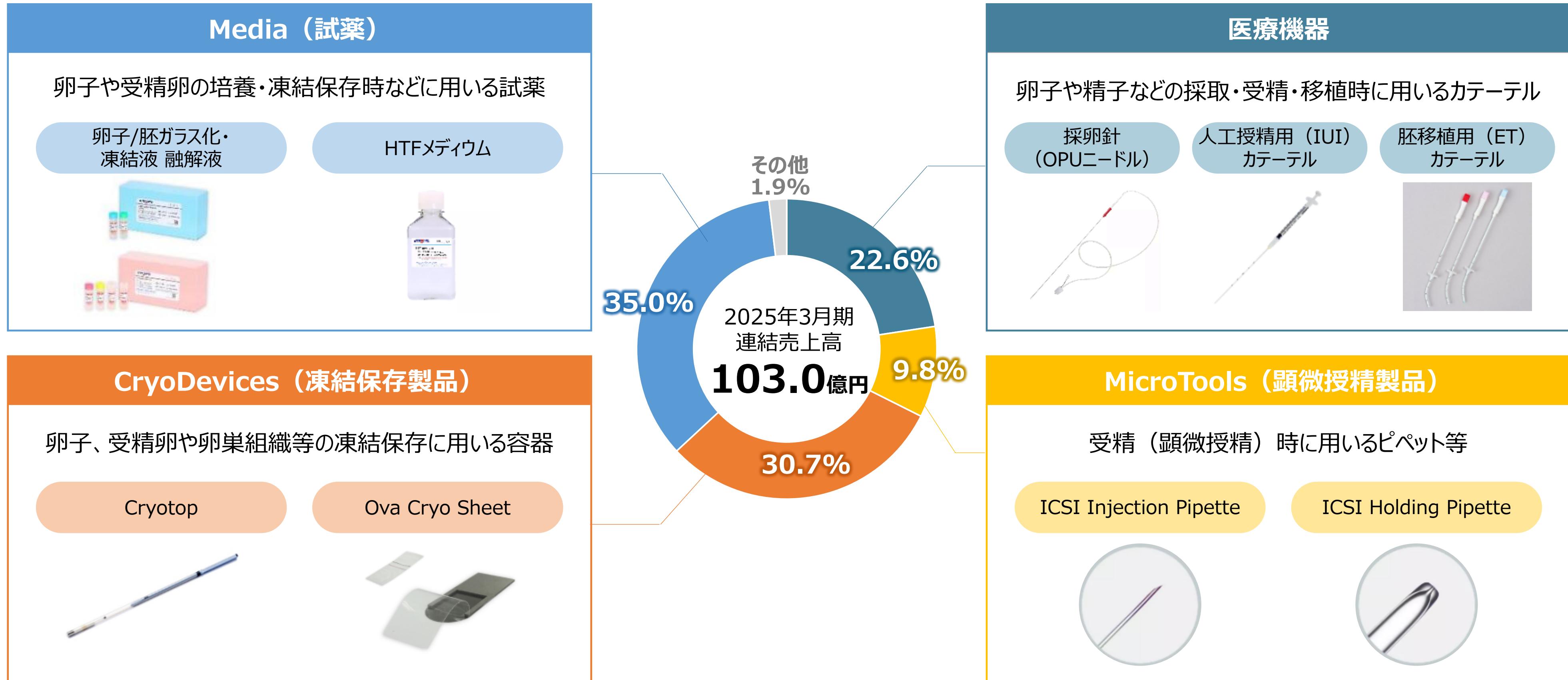
不妊治療の流れ



当社が注力する領域

KITAZATO® 当社の製品ラインナップ[®]

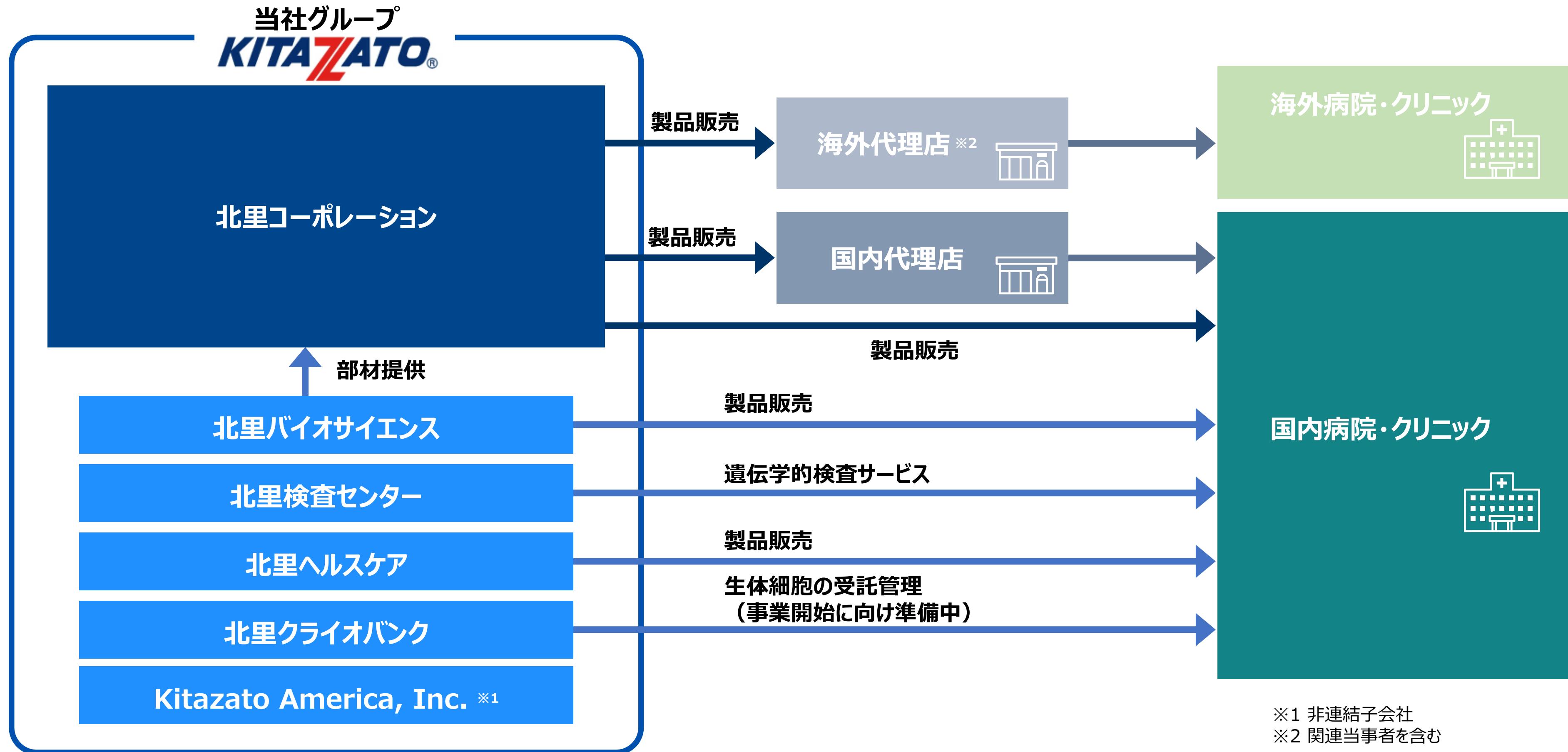




事業系統図

11

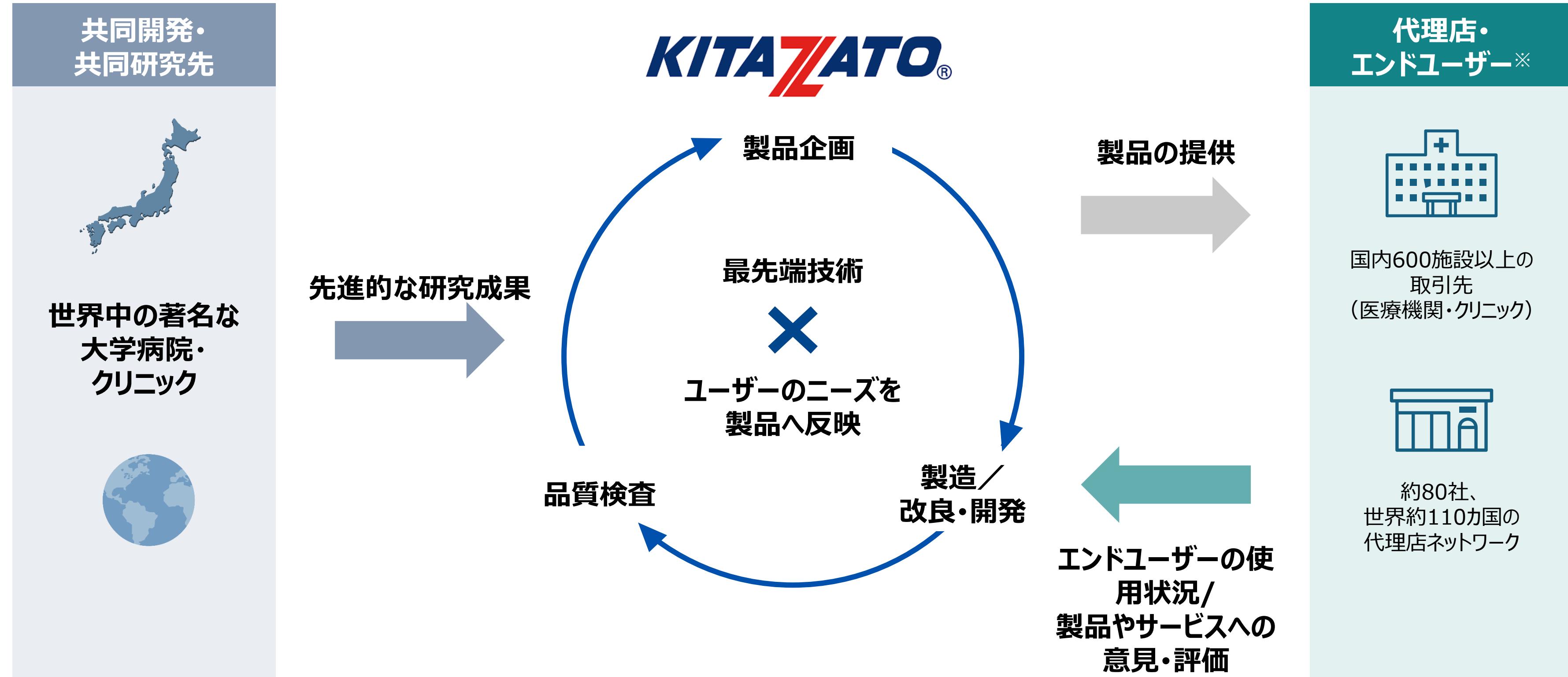
- 国内の商流は直接販売中心となっており、海外の商流は代理店経由。子会社は周辺領域を展開



当社の製品開発体制

| 12

- 世界中の医療現場と研究機関より先進的な研究成果を連携し、さらに顧客ニーズを取り込んで、迅速に製品化し高付加価値を創出



※2025年3月末時点

KITAZATO®

グローバルに浸透する『Kitazato』ブランド

| 13

- Made in Japanの品質、製品ラインナップ、特許取得を基盤に、医療現場の信頼に応える製品を提供

**Made in Japanに
裏付けされた品質水準**

顧客のニーズに応じた
安心・安全な医療器具を提供

すべて国内生産

- 本社工場及び
東京オフィスで生産

カスタム製造の技術力

- 数mmまたは数μm単位の
カスタマイズ
- カテーテルは1本1本手作業
で作製

高い基準での検品

- 不良品根絶のため徹底した
検品を実施
- 採卵針やカテーテルは顕微鏡
で人の目で細かく確認



**不妊治療における
一気通貫のラインナップ**

各治療段階で必須なものは
いつでも入手できる利便性

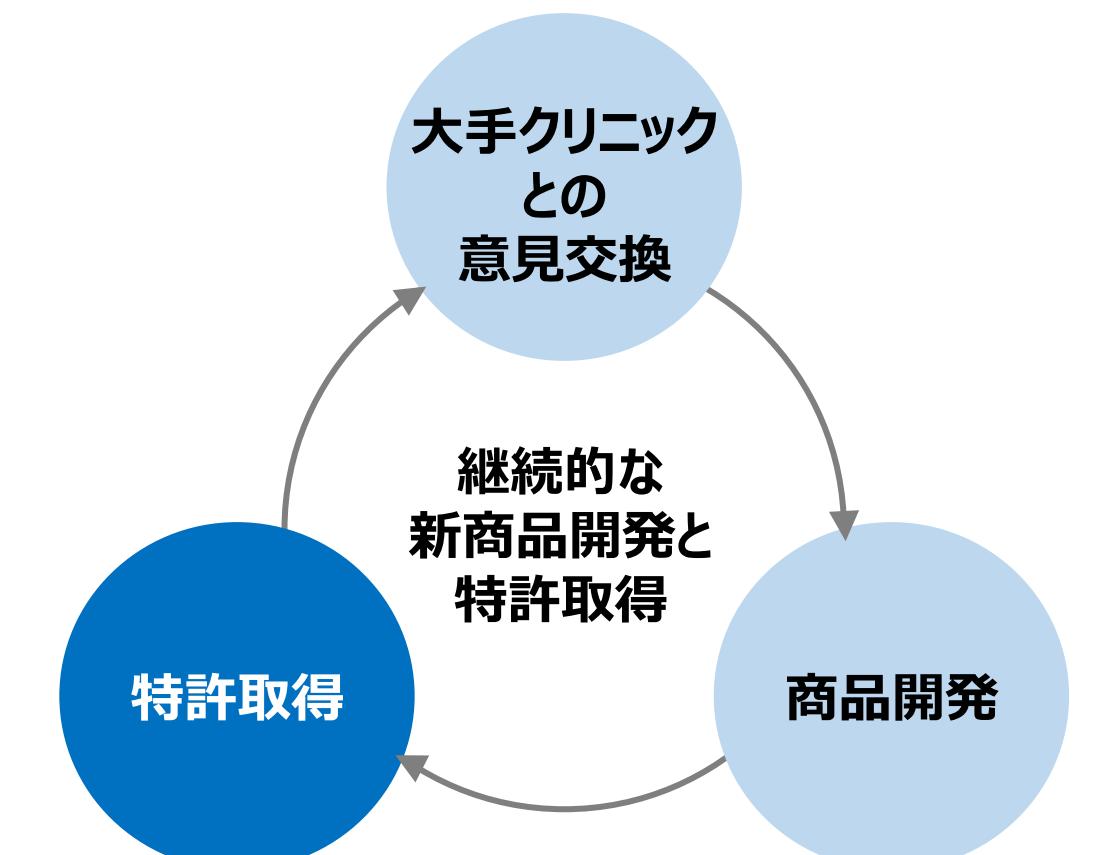
採取 → 受精 → 培養 → 凍結 → 移植

北里に行けば必ずある
または
製品がなければ作ってくれる
の信頼関係を構築



特許取得による保護

特許取得により
他社の模倣抑止



大手クリニック
との
意見交換

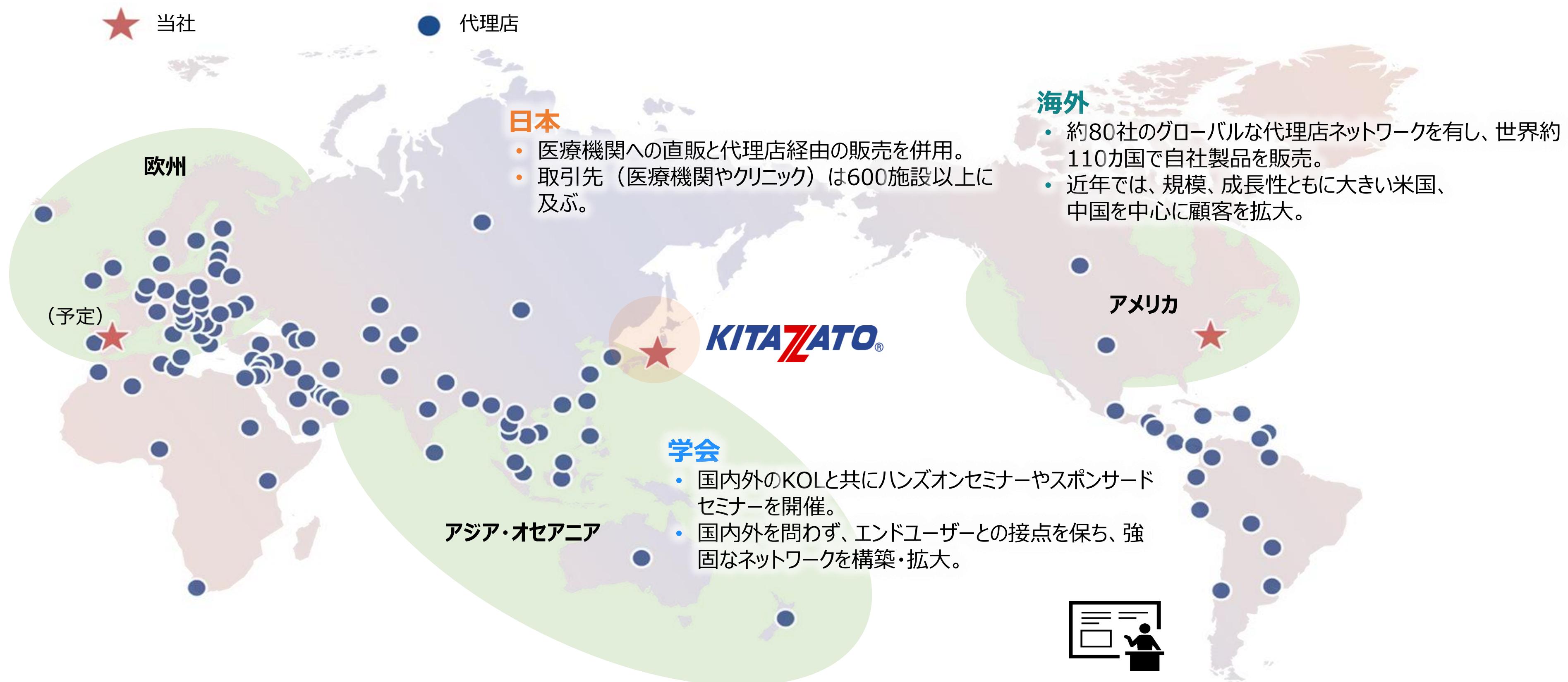
特許取得

商品開発

継続的な
新商品開発と
特許取得

グローバルに展開する強固な販売体制

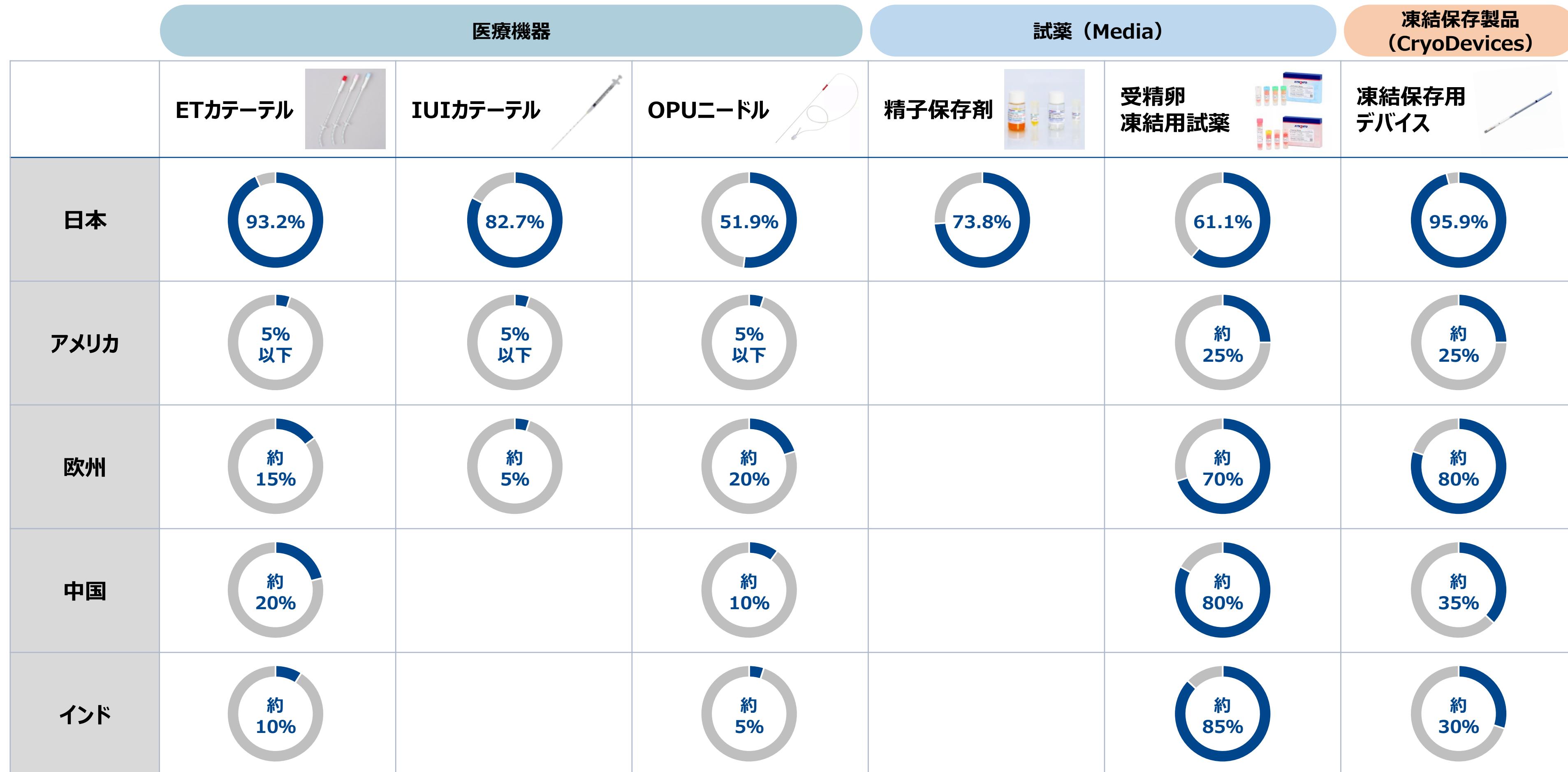
- 約80社の代理店ネットワークを通じ、世界110カ国で自社製品を展開し、安定した成長を支える販売基盤を構築



※2025年3月末時点

製品カテゴリ別・エリア別 当社のポジショニング

| 15



*日本は矢野経済研究所「医療施設における不妊治療に関するアンケート調査」より、2023年8月現在。その他の地域は当社及び当社代理店ヒアリング等による調査に基づく当社の認識、2024年12月現在。

2026年3月期 第2四半期 業績概要

KITAZATO®



損益計算書

| 17

- 売上高は5,247百万円（前年同期比+8.3%）、中間純利益は1,804百万円（前年同期比+6.0%）と增收増益
- 第2四半期 累計の進捗は、売上高49.5%／営業利益51.5%／経常利益51.8%／純利益51.6%と計画線上で推移

(百万円)

	2025.3		2026.3			
	2Q実績	通期実績	2Q実績	前年同期比	通期予想	2Q進捗率
売上高	4,843	10,302	5,247	8.3%	10,602	49.5%
営業利益	2,616	5,782	2,769	5.9%	5,374	51.5%
営業利益率	54.0%	56.1%	52.8%	△1.2pt	50.7%	-
経常利益	2,601	5,767	2,728	4.9%	5,267	51.8%
経常利益率	53.7%	56.0%	52.0%	△1.7pt	49.7%	-
当期（中間）純利益	1,703	3,788	1,804	6.0%	3,498	51.6%
当期（中間）純利益率	35.2%	36.8%	34.4%	△0.8pt	33.0%	-

(百万円)

	2025.3		2026.3				
	2Q実績	通期実績	2Q実績	前年同期比	通期予想	2Q進捗率	
売上高	4,843	10,302	5,247	8.3%	10,602	49.5%	
日本	1,748	3,496	1,800	3.0%	3,690	48.8%	
海外	3,095	6,805	3,447	11.4%	6,912	49.9%	
欧州	1,638	3,448	1,924	17.5%	3,645	52.8%	
米国	417	1,022	549	31.7%	1,179	46.6%	
中国	335	868	275	△17.9%	659	41.7%	
インド	176	467	310	76.3%	525	59.0%	
その他	527	998	386	△26.7%	903	42.7%	

■ 日本

第1四半期に引き続き採卵針及びカテーテルの新製品、改良品の販売が順調に推移し、売上高は1,800百万円(前年同期比3.0%増)。

■ 海外

中国は前年度生じたスポット販売の反動減と、その他地域もカナダ販売網変更等の影響により減少。

一方、欧州は卵子・胚ガラス化凍結液やCryoDevicesなどの新製品展開及び新規顧客開拓が順調に進み、また、インドも新規の顧客開拓が進んだことから、売上高は3,447百万円(前年同期比11.4%増)。

(百万円)

	2025.3		2026.3				
	2Q実績	通期実績	2Q実績	前年同期比	通期予想	2Q進捗率	
売上高	4,843	10,302	5,247	8.3%	10,602	49.5%	
Media	1,704	3,607	1,977	16.0%	3,731	53.0%	
CryoDevices	1,345	3,165	1,354	0.7%	3,131	43.2%	
医療機器	1,152	2,324	1,243	7.9%	2,377	52.3%	
MicroTools	551	1,009	551	△0.1%	1,147	48.0%	
その他	89	194	120	35.3%	216	55.6%	

■ Media

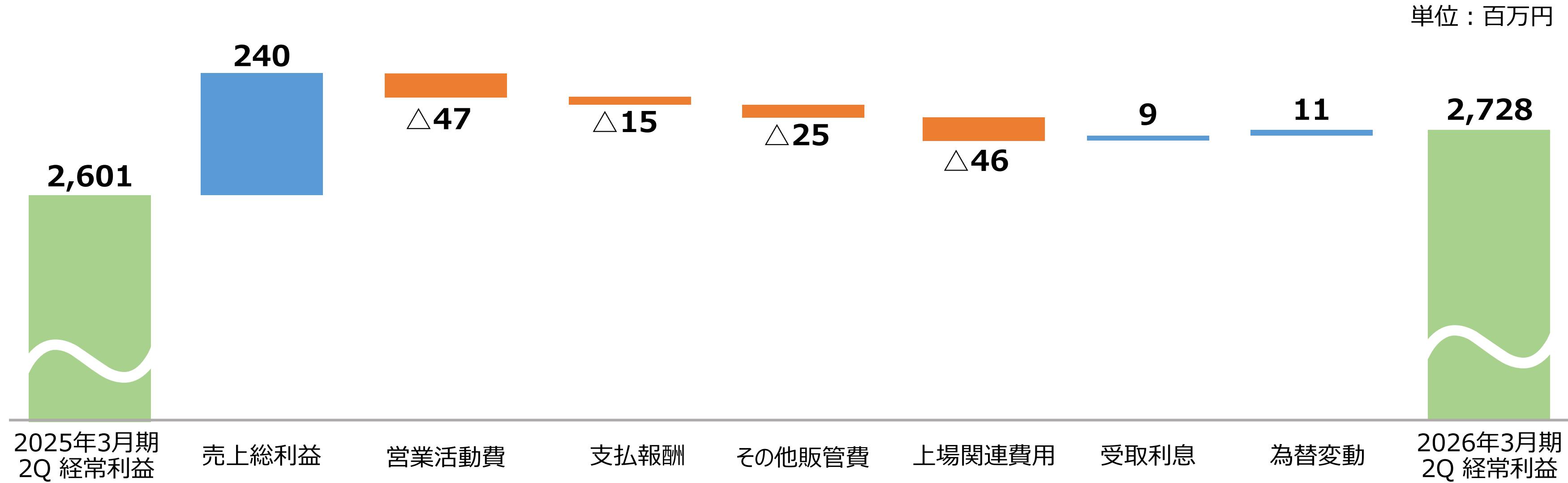
米国での卵子・胚ガラス化凍結液展開、インドでの新規の顧客開拓が進んだことから、売上高は1,977百万円(前年同期比16.0%増)。

■ 医療機器

胚移植用カテーテルの新製品、採卵針の改良品が国内、海外ともに引き続き好調で、売上高は1,243百万円(前年同期比7.9%増)。

経常利益の変動要因 <前年同期対比>

| 20



■ 売上総利益の増加

製品構成の変化等により、売上原価率が上昇したものの、売上増により240百万円の売上総利益が増加。

■ 営業活動費の増加

学会の出展に係る費用及び海外出張費用が増加。

■ 支払報酬の増加

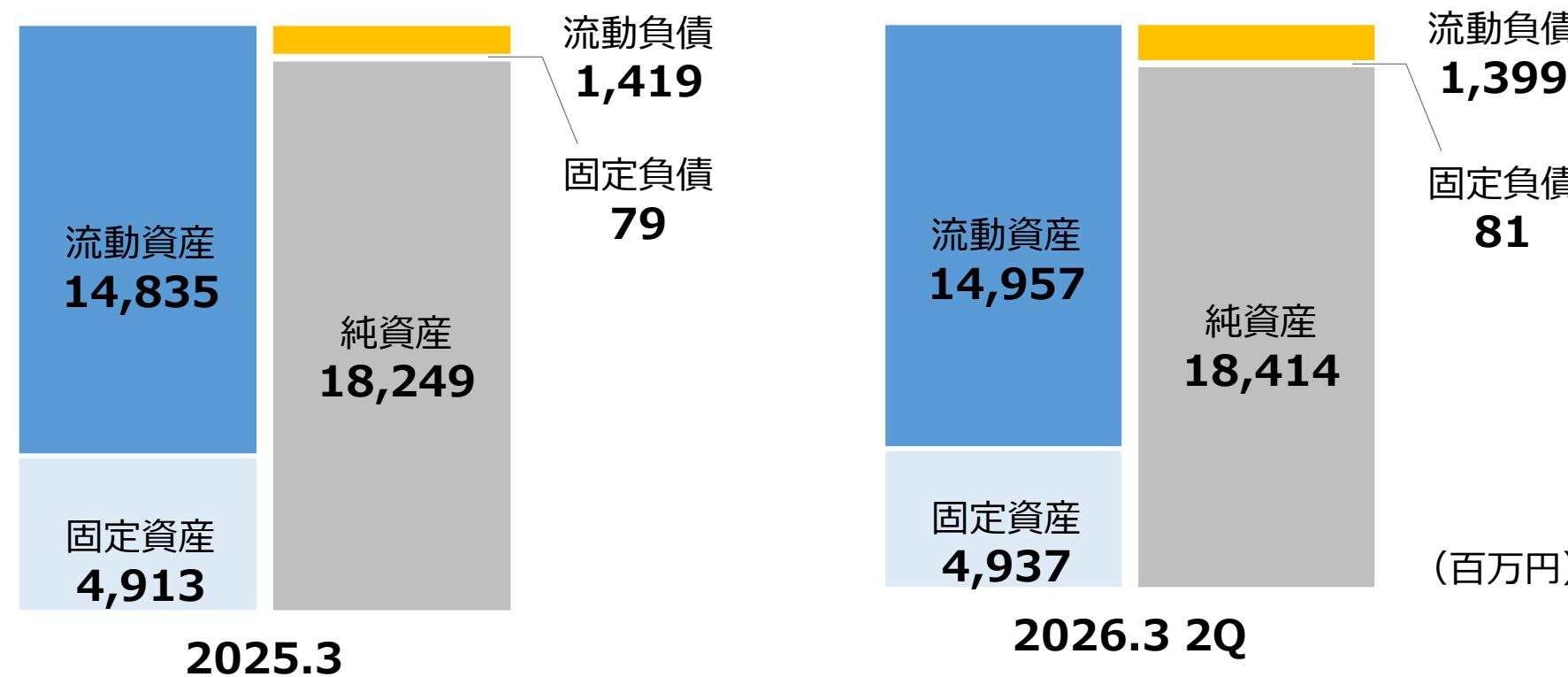
海外に販売するための認証取得費用が増加。

貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

| 21

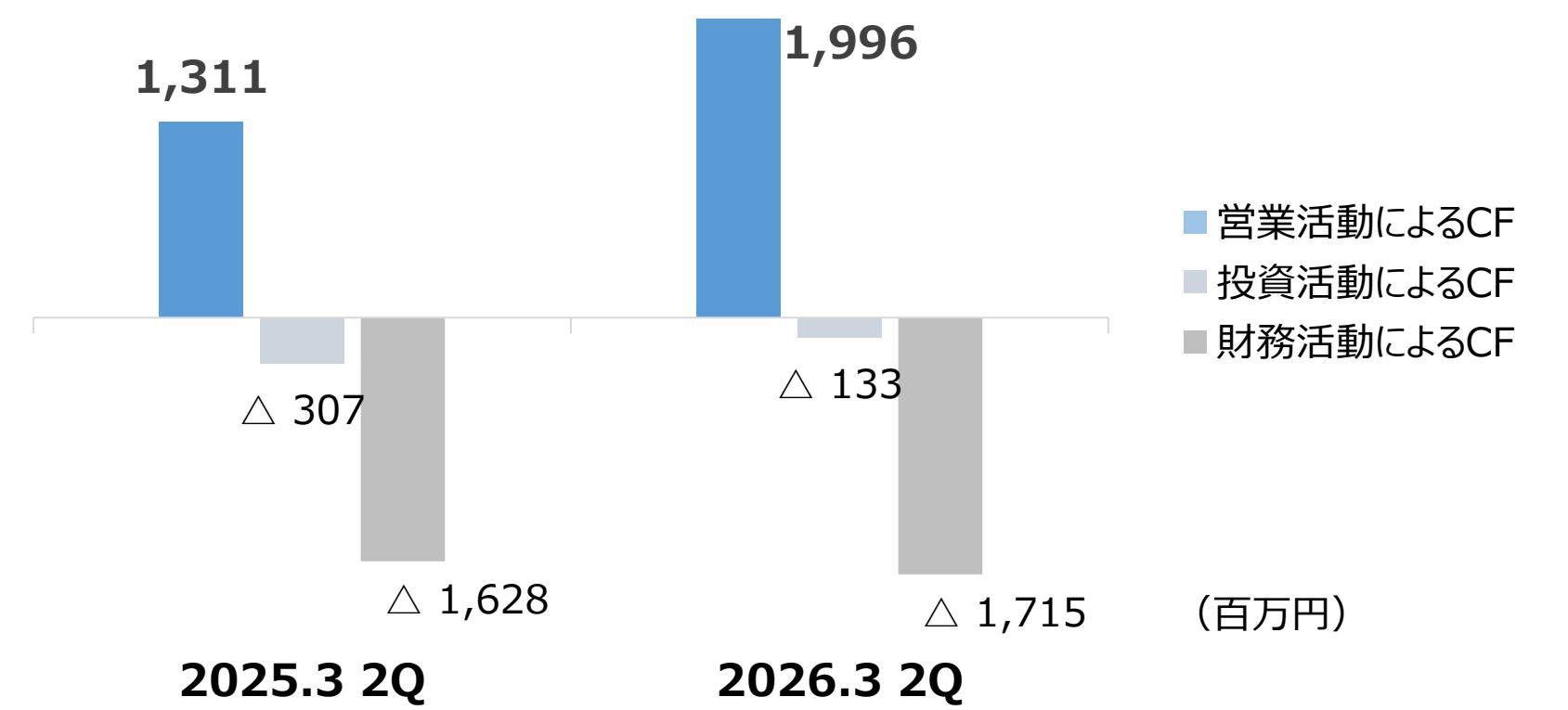
貸借対照表

	2025.3	2026.3 2Q	増減額
流動資産	14,835	14,957	122
固定資産	4,913	4,937	24
資産合計	19,748	19,895	146
流動負債	1,419	1,399	△20
固定負債	79	81	2
負債合計	1,499	1,481	△18
純資産	18,249	18,414	165
負債純資産合計	19,748	19,895	146
自己資本比率	92.4%	92.6%	0.2pt



キャッシュ・フロー計算書

	2Q	2025.3	2026.3
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,311	1,996
投資活動によるキャッシュ・フロー		△307	△133
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,628	△1,715
現金及び現金同等物に係る換算差額		△7	0
現金及び現金同等物の増減額		△632	147
現金及び現金同等物の中間期末残高		9,842	11,608



2026年3月期業績予想

| 22

- 売上高は海外市場で堅調に推移。費用は人員強化や海外展開促進、学会・認証取得、新社屋・自動化投資を計画どおり進行中。
- 現時点において、想定外の大きな変動要因は発生しておらず、堅調に推移しておりますが、今後も国際的な市場環境の変化等、不確定要素を慎重に見極める必要があることから、通期業績予想は据え置き。

(百万円)

	2025.3 実績	2026.3 予想	前期比 増減率
売上高	10,302	10,602	2.9%
営業利益	5,782	5,374	△7.1%
営業利益率	56.1%	50.7%	△5.4pt
経常利益	5,767	5,267	△8.7%
経常利益率	56.0%	49.7%	△6.3pt
当期純利益	3,788	3,498	△7.7%
当期純利益率	36.8%	33.0%	△3.8pt

業績予想の前提

- 海外取引の多くは日本円建てであるため、為替変動の影響は限定的。
- 当社は限界利益率が高い事業構造であるため、売上高の増加で利益が大きく変動する可能性あり。

市場環境と今後の戦略

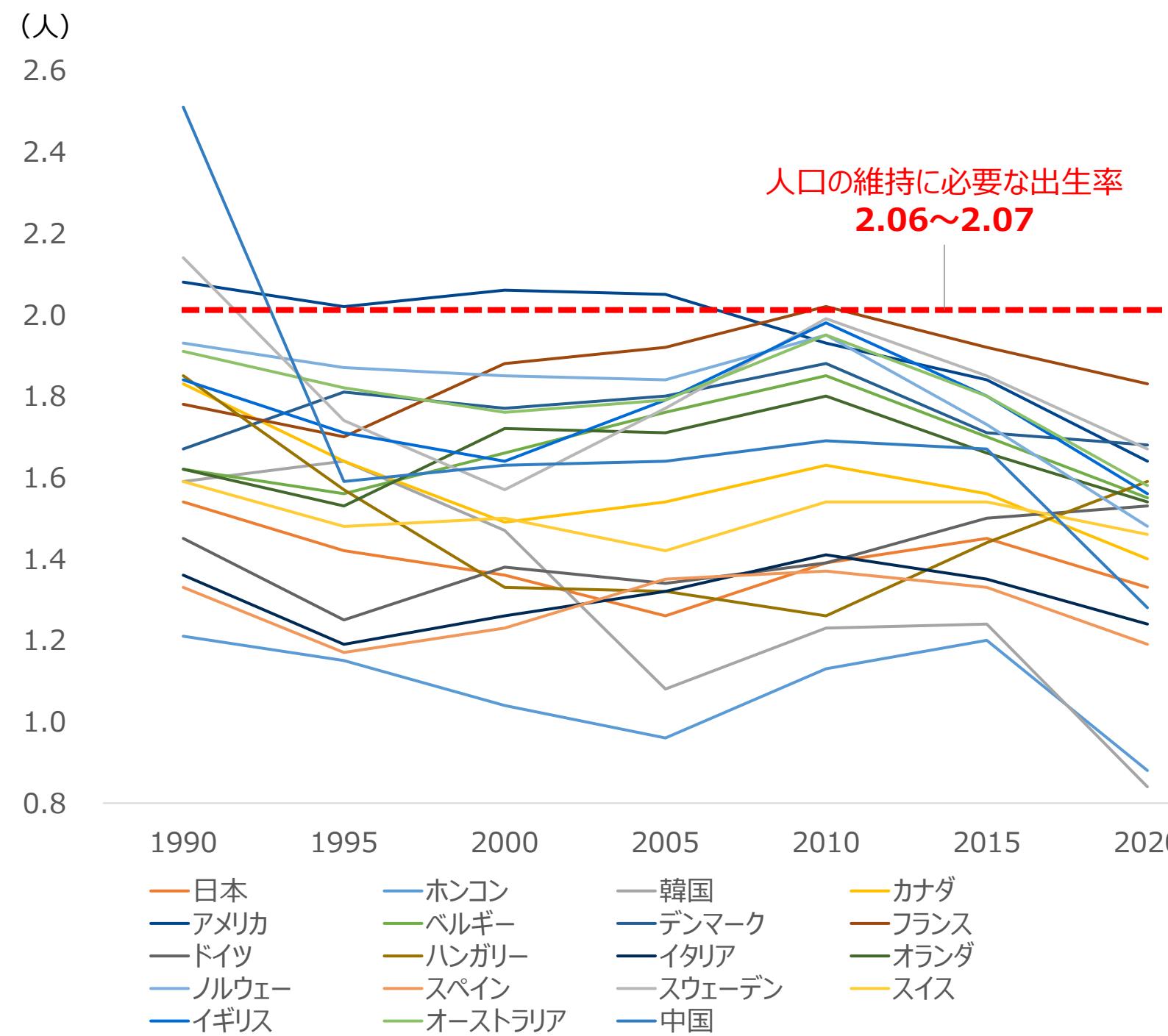
KITAZATO®



世界の主要国の出生率と人口推移

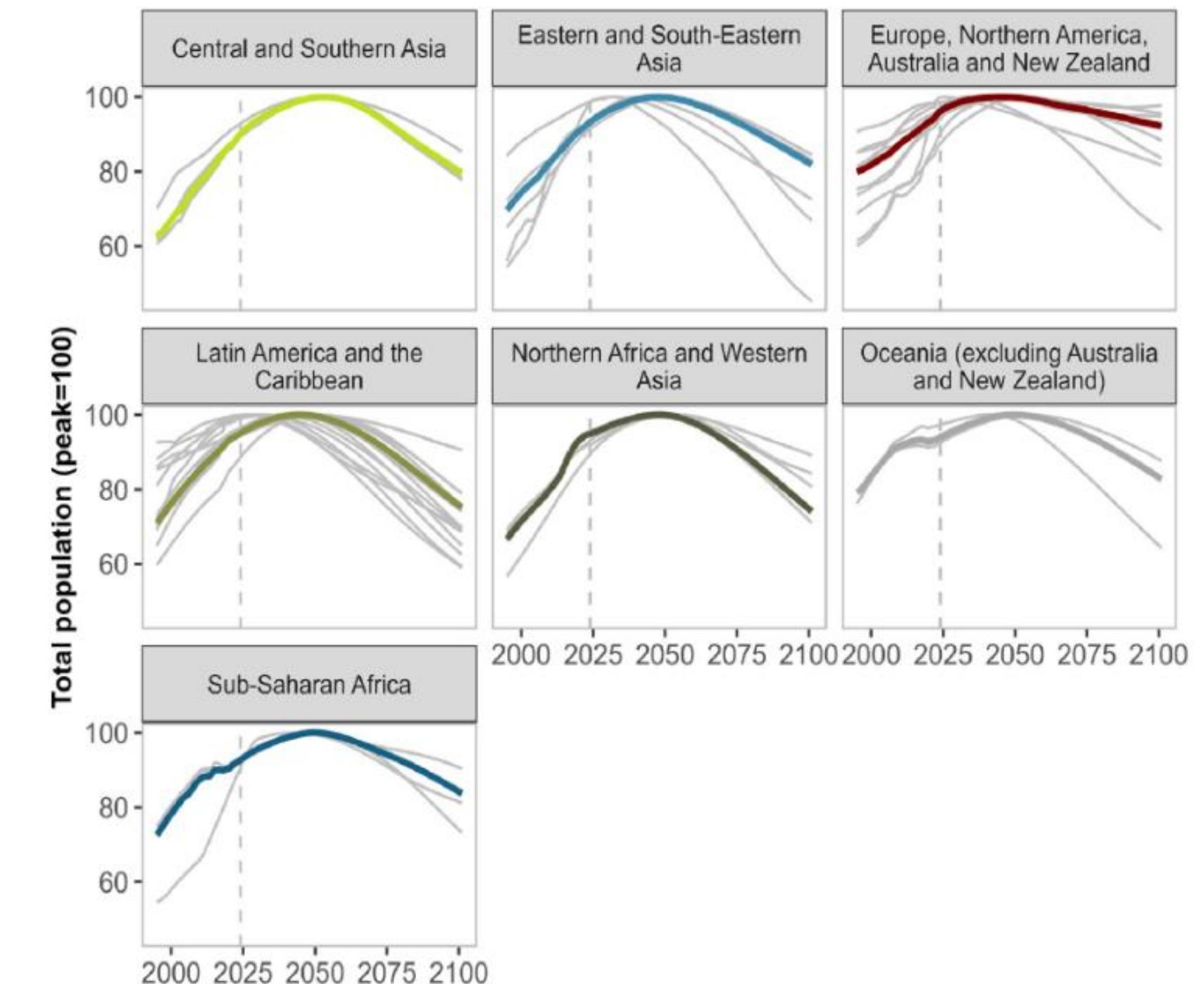
- 世界的に出生率は人口維持水準を下回っており、少子化の進行に伴って生殖医療への社会的ニーズが一層高まる

主要国 の合計特殊出生率の推移



出典：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集（2023）」
https://www.ipss.go.jp/syoushika/tohkei/Popular/P_Detail2023.asp?fname=T04-05.htm

今後30年以内に人口がピークに達する可能性のある
国や地域の総人口の地域別平均

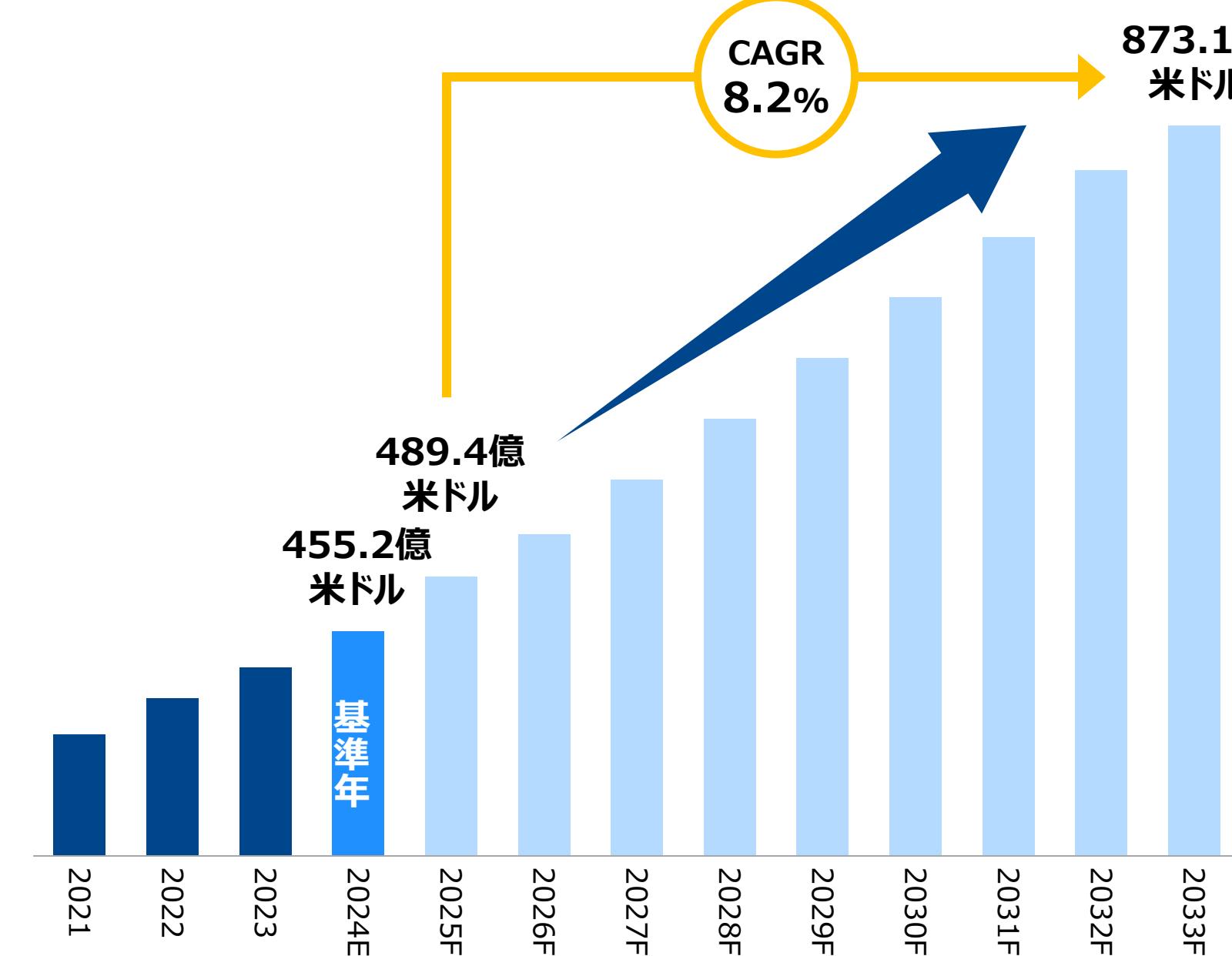


出典：国連「World Population Prospects 2024」
 ※1995から2023年の予測

不妊治療は世界的に拡大トレンドが続く

- 出生率の低下が進む一方で、不妊治療市場は社会的ニーズの高まりを背景に拡大の予測
- 特に欧米・中国・インドなど、当社の主要市場では今後も高成長が続く見通し

世界の不妊治療サービス市場規模（予測）※



出典：Straits Research

※ Eは見込み、Fは予測を意味する

世界	アメリカ	欧州	
卵子凍結および胚バンクの市場規模 2028年 66億米ドル CAGR 13.6% (2023-2028)	不妊治療サービス市場規模 2028年 168億米ドル CAGR 13.6% (2023-2028)	生殖補助医療市場規模 2028年 137億米ドル CAGR 14.2% (2023-2028)	
出典：The Business Research Company	出典：BCC Research	出典：BCC Research	
中国		インド	
不妊治療市場規模 2030年 6.4億米ドル CAGR 9.1% (2023-2030)	不妊症有病者数 ^{※2} 2024年 4,860万人 世界の不妊症有病率17.5% ^{※3} × 中国の出産適齢期20-49歳女性数2億7,771万人 ^{※4} で算出	原発性不妊症有病率 推定 3.9~16% 出典：Fortune Business Insights	体外受精市場規模 2037年 10億米ドル超 CAGR 約13% (2025-2037)
出典：Global Industry Analysts, Inc.	出典：TechSci Research		

※1 市場規模を示す参考数値

※2 市場規模を示す参考数値かつ推定値

主要地域における市場成長率と当社の成長戦略

| 26

■ 各地域の制度や市場環境に応じた最適な戦略を展開し、グローバルでの需要拡大に対応

	日本 	米国 	欧州 	中国 	インド 
市場 環境	<ul style="list-style-type: none"> 保険適用拡大により安定成長 出生の約9人に1人が体外受精児 	<ul style="list-style-type: none"> 保険適用州が年1~4州ペースで拡大^{※1} 出生数も増加傾向 	<ul style="list-style-type: none"> 各国で保険制度整備進行 公的補助も充実し市場拡大基調 	<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療への保険適用施設が急増^{※2} 第3子政策による需要拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 晩婚化・都市化を背景に不妊治療需要が拡大 体外受精市場規模拡大の予測
成長 戦略	<ul style="list-style-type: none"> 新製品投入・教育支援強化・検査/周辺事業への展開 国内No.1ブランドを維持 	<ul style="list-style-type: none"> CryoDevices/Media導入拡大 Kitazato America設立による直販体制強化・学会マーケティング推進 	<ul style="list-style-type: none"> CE認証取得加速・技術指導強化 OEM比率低減による内製化推進 	<ul style="list-style-type: none"> 代理店販売に加え自社営業部門設置 大手施設への直販強化・国産優遇制度への対応検討 	<ul style="list-style-type: none"> 販売網と製品ラインアップの拡大 グローバルブランド使用のインドの上位施設への対応強化
2023年出生数(千人) 全世界の出生数に占める割合 ^{※3} (%)	770 (0.6%)	3,701 (2.9%)	6,429 (5.0%)	9,129 (7.1%)	22,759 (17.6%)
2025年3月期 売上高(百万円) 構成割合 (%)	3,496 (33.9%)	1,022 (9.9%)	3,448 (33.5%)	868 (8.4%)	467 (4.5%)

※1 出典：Resolve “Insurance Coverage by State”

※2 出典：ニッセイ基礎研究所「少子化対策として不妊治療を保険適用へ」

※3 出典：国際連合経済社会局人口部統計

- 静岡本社敷地内に新社屋が完成し、オートメーション化による生産能力および研究開発力の強化を進める

新社屋の概要

静岡本社の敷地内に新社屋が完成



- 竣工時期 : 2025年6月
- 総床面積 : 3,319m²
- 投資額 : 769百万円

設備投資の内容と期待する効果

オートメーション化

- 2026年3月期および2027年3月期に採卵針の自動組立機、Media液剤の自動分注機などを導入し、オートメーション化を推進予定
⇒ 人件費削減、品質向上、生産リードタイム短縮

生産能力の増強

- 医療機器、Media製品の生産能力の増強を図り、2027年3月期までに生産能力を倍増予定

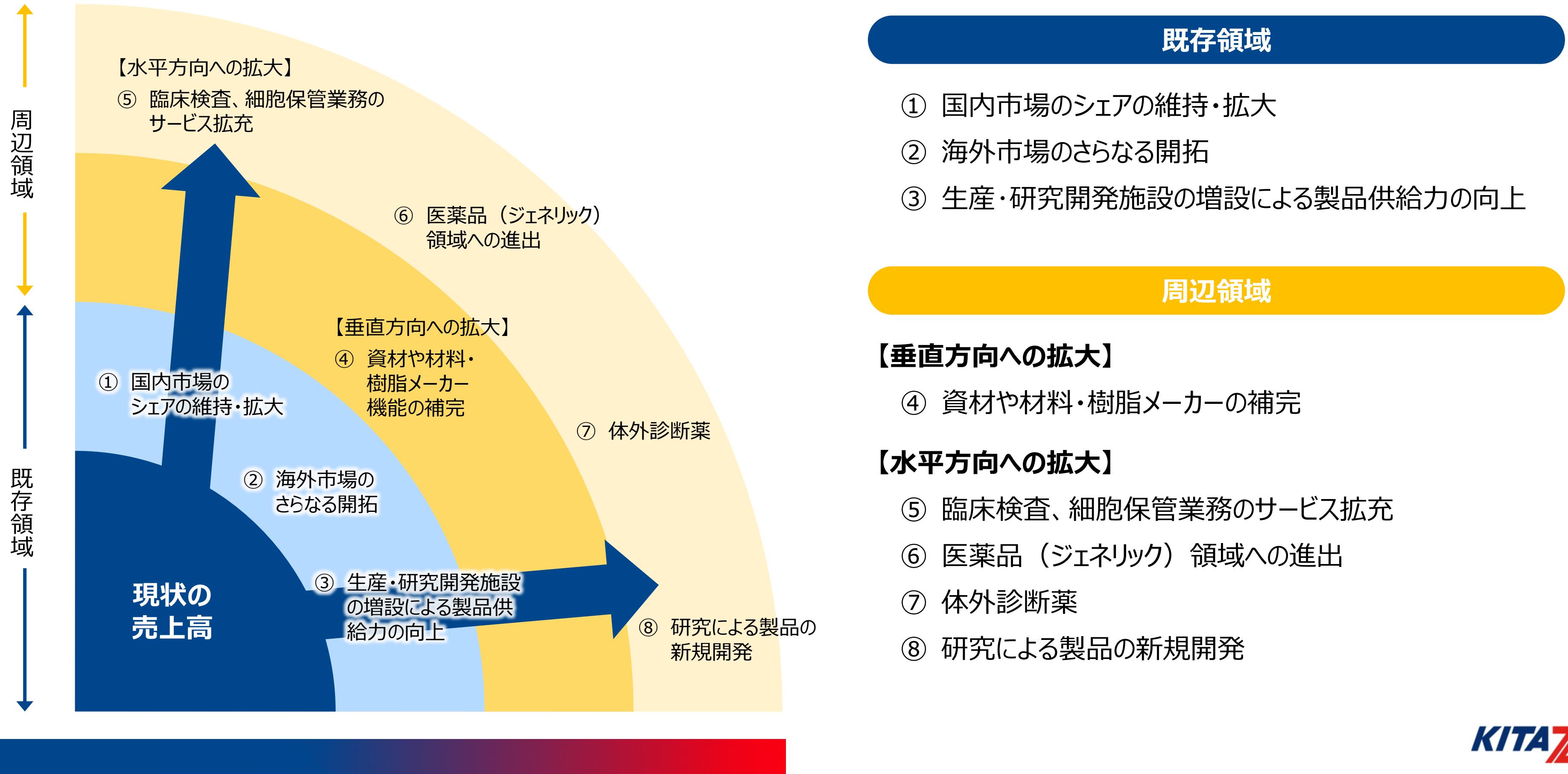
研究開発力の増強

- 研究室の増設、実体顕微鏡、倒立顕微鏡、インキュベーター、解析機器等、不妊治療施設と同等機器の導入

セキュリティの強化

- 新たなイントラ環境を構築し、セキュリティレベルの強化も同時に進める予定

- 当面は既存領域の拡大に注力、中長期的にはM&Aも活用し、不妊治療に必要な「医療機器」「医薬品」「体外診断薬」の3本柱の確立を目指す



- 安定的に創出されるキャッシュを、M&Aを含む成長投資や経営基盤の強化、株主還元にバランスよく配分し、持続的な成長を目指す

成長事業分野への 展開のための有効投資

- 市場ニーズに応える技術・製造開発体制の強化
- グローバルでのエリア拡大
- 機動的なM&Aの実施のための資金の確保

経営環境の変化に耐えうる 基盤の強化

- 社員教育の実施と社員が働きやすい環境整備
- 多様な人財の採用促進

安定的な配当の継続

- 連結配当性向 40%以上を目安

	2025.3	2026.3 (予)
1株当たり配当金	41.00円	41.00円
連結配当性向	43.3%	46.9%

売上高

2025.03 2Q	2026.03 2Q
48.4億円	52.4億円

8.3%増

売上総利益

2025.03 2Q	2026.03 2Q
32.2億円	34.6億円

7.5%増

営業利益

2025.03 2Q	2026.03 2Q
26.1億円	27.6億円

5.9%増

営業利益率

2025.03 2Q	2026.03 2Q
54.0%	52.8%

1.2pt減

海外売上比率

2025.03 2Q	2026.03 2Q
63.9%	65.7%

1.8pt増

自己資本比率

2025.03 2Q	2026.03 2Q
92.3%	92.6%

0.3pt増

この資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

お問合わせ先

株式会社 北里コーポレーション

経営企画部

TEL 0545-65-7122

URL <https://www.kitazato.co.jp/ja/ir/inquiry/>



www.kitazato.co.jp